

2022年度年次総会

17



2021年10月22日（金）から29日（金）にかけて2022年度年次総会をオンライン配信形式で開催しました。

今回はフェアトレードシティくまもと推進委員会代表理事の明石祥子さんが、フェアトレードをテーマに企業の皆さんが具体的にできる行動について講演。

「熊本市はフェアトレードシティに認定されて、今年で10周年。公正な貿易を目指すフェアトレードは、SDGsすべての項目に関連しています。コツコツと活動を継続し、皆さんとつながることで良い未来を描いていきたいです」とメッセージを送りました。

YMCA インターナショナル・チャリティーラン

3 10

障がいのある子どもたちもそうでない子どもたちも共に幸せに生きていける社会を目指し、全国で開催されているYMCA インターナショナル・チャリティーラン。第6回となった熊本大会は、対面とオンラインのハイブリッドで開催しました。2021年11月28日（日）に益城町総合運動公園で行われたオープニングランを皮切りに、12月5日（日）までの8日間、総合距離1,000kmを目指して参加者それぞれがラン、ウォーク、スイムなどにチャレンジし、距離のリモート申告を行いました。総積算距離は3,769.3kmと、目標を大きく上回る結果となり、参加費等による益金は430,268円でした。YMCA フィランソロピー協会から6チームが参加し、大会を盛り上げました。



2022年は11月27日（日）開催予定です▶



フェアトレードの推進

8 10



2022年度もクリスマスとバレンタインデーに合わせてフェアトレード商品を販売。今年はギフトセットを含む1,873枚のチョコレートを販売したほか、カレーの壺（カレー調味料）やシアバターも好評でした。

Philanthropy Newsletter



YMCA フィランソロピー協会 事務局：公益財団法人熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397 FAX 096-324-7877
E-mail: ymca.philanthropy@gmail.com
http://www.kumamoto-ymca.or.jp/philanthropy/

ニュースレター No.76

編集：YMCA フィランソロピー協会事務局
印刷：株式会社城野印刷所
発行：2022年10月



よろこびあえる未来を

会員企業

税理士法人 近代経営

熊本トヨタ自動車

熊本日日新聞

熊本銀行

RKK 熊本放送

城野印刷所

NTT西日本

肥後銀行

RICOH リコージャパン株式会社

(以上、幹事企業)

社会医療法人愛育会 福田病院
株式会社エフエム熊本
株式会社紙弘
亀井通産株式会社
九州産業交通ホールディングス株式会社
九州電力株式会社熊本支店
九州旅客鉄道株式会社熊本支社
九州労働金庫熊本本部
熊本朝日放送株式会社
株式会社熊本県民テレビ
株式会社熊本製綿所
熊本第一信用金庫
熊本電気鉄道株式会社
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社熊本南支店
株式会社スーブル
株式会社 TAKATA PAPER PRODUCTS
株式会社テレビ熊本
東光石油株式会社
富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社
三菱HCキャピタルオートリース株式会社九州支店熊本営業所
有限会社ゆうしん

(30社 2022年9月現在)

YMCA フィランソロピー協会

Philanthropy Newsletter



No.76
2022

企業と人の社会貢献

YMCA フィランソロピー協会は、
よろこびあえる未来を実現するために
シゴト*とまちに笑顔を広げる活動に取り組みます。
*私事から志事(社会貢献)へ

2022年度を振り返る



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

YMCA フィランソロピー協会はSDGsを推進するとともに、本会に集う人たちのおもいをひとつにして、社会貢献活動に取り組んでまいります。

CONTENTS

新入社員ボランティア入門講座
おしごとカフェ/フィランソロピーセミナー/年次総会
YMCA インターナショナル・チャリティーラン
フェアトレードの推進

フィランソロピーとは、ギリシャ語の「人間愛」という言葉に由来し、人間愛にあふれる社会を目指す、企業の社会貢献活動を表す言葉として用いられています。

人間力を育成 新入社員ボランティア入門講座 8 10 11

4月5日(火)、新入社員らを対象に「第27回新入社員ボランティア入門講座」を開催しました。本講座は、企業人のボランティア精神を育む最初の機会として、障がい者の自立を支援する「NPOヒューマンネットワーク熊本」より障がい当事者を講師に迎えて行う企業合同研修会です。講座には5企業・団体より25名が参加し、食事介助体験と高齢者疑似体験、車いす操作に挑戦。地域環境のあり方や日常生活の援助のあり方について考えました。



食事介助

2人がペアとなって食事を食べさせ合い、介助をする側・される側それぞれの立場を体験。「無言で」「まばたきだけでコミュニケーションをとりながら」などのパターンを経験し、参加者は自分のペースや食べたいものを伝えられないもどかさ、相手の気持ちを感じ取る難しさを感じた様子でした。



高齢者疑似体験

専用のスーツを着用した参加者たちが、階段の昇り降りを体験しました。腰や足の曲げ伸ばしの不自由さ、視界の悪さなどを感じ、高齢者の立場になったことで「やさしい社会づくり」について学びました。

- 会場：熊本YMCA本館
- 共催：(特非) 自立生活センターヒューマンネットワーク熊本
- 参加企業：熊本トヨタ自動車(5名)、熊本放送(1名)、西日本電信電話熊本支店(7名)、岩永組(8名)、熊本YMCA(4名)
- ※累計2,777名



車いす体験

車いすの使用法と特性を学び、屋内・屋外で試乗しました。乗車者と介護者としてペアになった他、一人での乗車にも挑戦。参加者はわずかな傾斜や段差による不便さを感じ、ユニバーサルデザインの重要性を学びました。

参加者の声

車いすに乗ってみると、普段何気なく歩いている道が実は斜めになっていてまっすぐに進めないこと、横断歩道は信号が青の間に渡ることが難しいことなどに気づきました。誰もが当たり前地域で安心して暮らしていけるように考える必要があると感じました。

何事も体験することが大切だと学びました。相手に対して「こうしてほしいだろう」と思うだけでなく、相手のしてほしいことを尋ねることも大切だと思いました。

立場の違いや身体の特徴によって、見える世界が大きく異なること、その壁が少しのコミュニケーションによって解消されることを知りました。相手の立場に立って行動する心をもって、熊本の人々の為になる仕事をしたいです。

児童養護施設の子どもたちのために おしごとカフェ 4 8

児童養護施設で暮らす子どもたちの自立と就労を応援することを目的に2019年にスタートした職業説明会「おしごとカフェ」。第4回となる2021年11月27日(土)はオンラインで、第5回2022年8月10日(水)は3年ぶりに対面形式の開催となりました。

第5回は小学5年生～高校生の子どもたちと会員企業をはじめとする7企業・団体が熊本YMCA本館に集いました。企業の紹介とマナー講座の後、各企業・団体のブースを子どもたちがまわり、実際の仕事や働き方などについて説明を聞きました。「なぜ、今の仕事を選んだのですか」「仕事をする意味は何ですか」等の質問が出るなど、はじめて聞く企業人たちの話に子どもたちは興味津々の様子でした。

中学生の参加者からは「ぼんやりとしか分かっていなかった仕事について知ることができてよかった」との感想が聞かれ、児童養護施設の職員の方からは「子どもたちが積極的にブースをまわることができていて、よい経験になった」などの感想が寄せられました。



- 第4回 ■参加企業：熊本電気鉄道、熊本放送、城野印刷所、肥後銀行 / ■児童養護施設：広安愛児園(5名)
- 第5回 ■参加企業：近代経営、城野印刷所、肥後銀行、西日本電信電話熊本支店、リコージャパン熊本支社、セブン-イレブン段山本町店、熊本YMCA / ■児童養護施設：慈愛園、藤崎台児童園等(計9名)

共に学び合う フィランソロピーセミナー

講演会「熊本の水資源について」

6 14 15

■日程：2月9日(水) オンライン開催

NPO法人くまもと未来ネット理事の井上智さんを講師に招き、オンラインセミナーを開催しました。熊本市とその周辺は、飲料水のすべてを地下水でまかなう世界でも稀な都市です。井上さんから熊本の地下水の仕組み、白川中流域での地下水涵養の取組みと実績、地下水量の推移や課題について分かりやすく説明がなされ、「皆さんも当事者になり、熊本の課題に参加していただきたい」とメッセージが伝えられました。

映画「ザ・トゥルー・コスト〜ファストファッション 真の代償〜」試写会

1 10 12

■日程：5月18日(水) ■会場：肥後銀行本店 ■参加者：13名(5社・事務局)

発展途上国の工場に縫製を大量発注し、安価な衣服を大量に販売するファッション業界の闇に焦点を当てた話題のドキュメンタリー映画の試写会を開催しました。

事例紹介「3企業の事例から学ぶ〜今、企業が取り組むSDGs」

17

■日程：9月7日(水) ■会場：肥後銀行 北熊本支店

■参加者：20名(10社・事務局)

株式会社肥後銀行とリコージャパン株式会社、株式会社タカタペーパープロダクツが自社のSDGsに対する取組みを紹介。紙製品を通してSDGsに貢献する事例を紹介したタカタペーパープロダクツの高田加代子さんは「SDGsは一足飛びにはできないけれど、諦めないでやり遂げることが私たち人間の責任ではないでしょうか」と語りました。



今、企業が取り組むSDGs